

1. 日時: 2018年10月6日(土) 10:00-12:00
2. 場所: 岐阜大学サテライト・キャンパス
3. 出席者: 中尾捷、田島映久、阿部駿一郎、三浦正嗣、渡邊幸之助、神田淳、芦刈貴章、新玉重貴、山中 清、米田治史、森口尚基、佐藤 章、石井秀明、米澤雅之、勝間享、浅井護、川崎哲夫、計17名
4. 特別報告 (川崎):  
当会の創設に尽力された有泉湧二氏がすい臓癌のため10月4日に急逝されました。ご冥福を祈るとともに故人を偲んで黙祷を捧げます。(参加者全員で黙祷)
5. 講演: 「航空宇宙品質マネジメントシステムについて~AS9100の概要を中心に~」  
講師: BSI グループジャパン (英国規格協会) BSI 認定主任審査員 浅井 護 氏
  - (1) 講演要旨: PC等による投影と事前にメール配信された資料。
    - ・航空宇宙向け認証の経緯。MIL-Q-9858A(1994年)から始まって、ISO9001(1995年)を経て、1997年に設立されたIAQGにより航空宇宙特有の要求事項を追加してAS9100(1999年)が制定された。AS9100との同等性を担保することにより欧州連合ではES9100、日本ではJIS9100が制定された。
    - ・認定機関の構成。IAQGはボーイング、エアバス、ロックウェル、三菱重工、川崎重工など世界の航空宇宙メーカーで構成され、各国には、英のUKAS、日本のJABなどの認定機関の下に企業を審査する認証機関がある。BSIは英国の認証機関の一つであり、日本にはBSK、JQA、JICなどの認証機関がある。各認証機関は認定機関の厳格な監督下に置かれており、認証機関の審査現場に認定機関が立ち会うことがよくある。
    - ・認証取得企業の一覧情報。認証取得企業はOASIS(Online Aerospace Supplier Information System)に登録され、審査報告書などが全世界でデータベース化され管理されている。
    - ・9000シリーズの構成。ISO9001はAS9100に包含され、更にAS9110、更にAS9120に包含される。AS9100は設計・開発・製造、AS9110は整備・修理、AS9120は仕入れ・販売・運送保管を各々対象にする。日本では未だAS9110とAS9120の業界需要がないためJIS化されていないが、将来はJIS化されると思われる。日本の認証機関ではAS9110やAS9120は取得できないがBSIでは可能。
    - ・審査員の資格要件。ISO9001を履修してから航空宇宙審査員基礎研修コースを受講して合格せねばならないが、合格率が10~20%と厳しい。現在、日本でAEA(航空宇宙産業経験審査員)が55人、AA(航空宇宙審査員)が18人いる。審査チームリーダーになれるのはAEAのみ。
  - (2) Q1: OASISで管理されるNCR(不適合報告書)には企業秘密が含まれるのでは?  
A1: 企業秘密は分からないように伏せる。  
Q2: PMAは模造部品なのか?  
A2: PMAはFAAの認定業者が製造するものであるから正規部品。  
Q3: NADCAPも取り扱うのか?  
A3: BSIはNADCAPに関わっていない。NADCAPは認証機関が別にある。
6. 次回例会予定 12月1日(土) かかみがはら航空宇宙博物館 「飛燕解説」KHI 小山氏
7. ウェブ中継 12月22日 中部本部会議室 PX/CXについて(仮) KHI OB 久保氏  
宇宙のゴミ JAXA 加藤氏

